

～「量的拡充」と「質的拡充」～

ICT活用保育事業

＜地方創生加速化交付金(27年度補正)＞

＜地方創生推進交付金(29年度追加分)＞

＜保育士間のコミュニケーションがカギを握る＞

平成30年1月18日

岐阜県美濃加茂市

保育園の抱える課題

保育士不足

保育ニーズの多様化

業務過多

施設の老朽化

課題を解決する手段

ICT活用保育事業

認定こども園の設置

潜在保育士の掘り起し

施設整備計画（建替）

待機児童解消加速化プラン
保育士確保プラン
保育士就労支援事業

量的拡充

(保育所の建設)
(保育士の確保)

保育版状態把握プログラム
(保育MIMOTE)

質的拡充

(質の向上)
(個々の把握)

状態把握



子どもの
個々の状態
観察・把握

記憶 ≤ 記録



子どもの様子を
保育士が入力

「ベテラン」と「若手」



保育士間で情報共有
コミュニケーション

保育版状態把握プログラム

タブレット

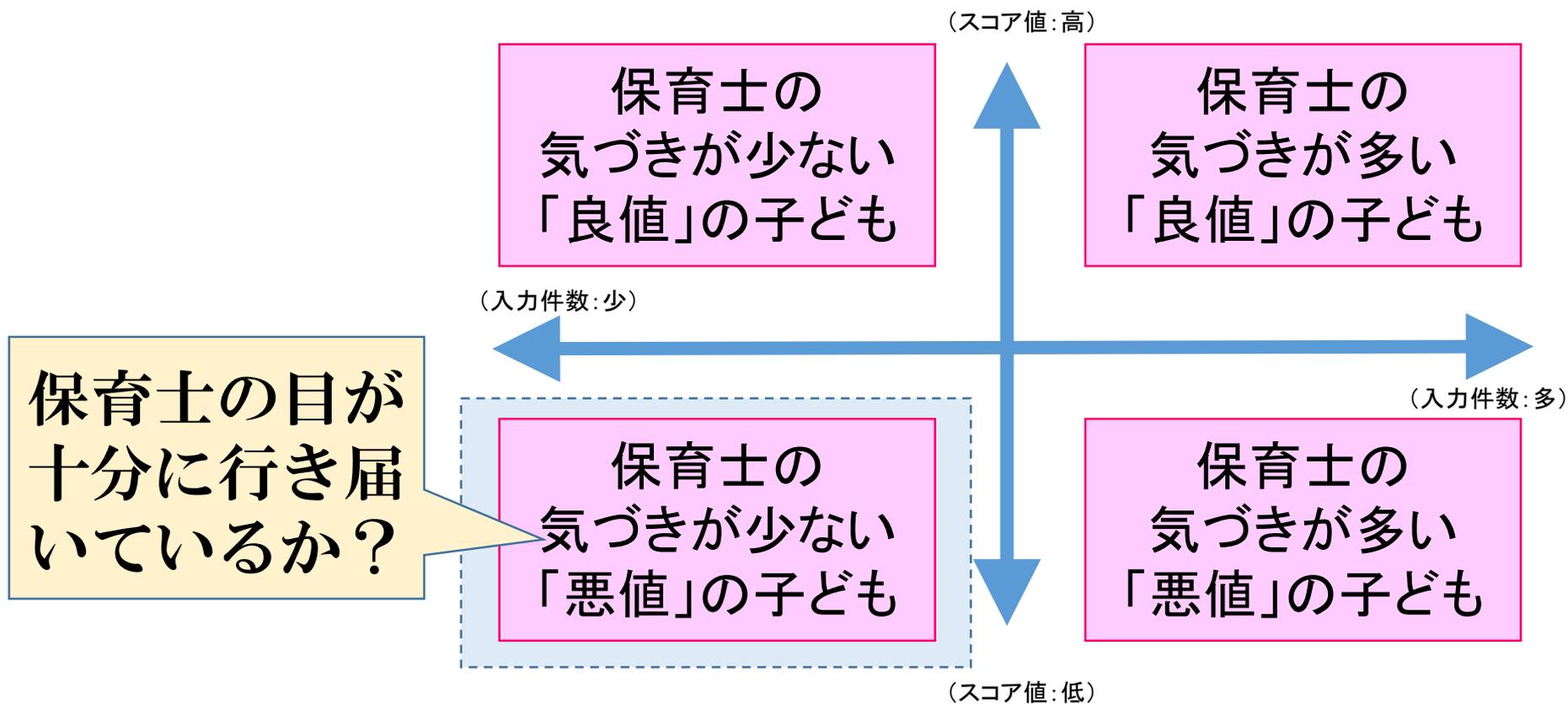
気づきデータ項目	説明
1. 挨拶	元気にあいさつできているか (母親から離れない など)
2. 食事	食事の様子に異常はないか (いつもよりたくさん食べる など)
3. 排泄	排泄の様子に異常はないか (トイレの回数 など)
4. 活気	健康状態に問題はないか (発熱はしていないか など)
5. 筋力	元気に遊んでいるか (いつもより元気がない など)
6. 一人行動	一人遊びが上手にできているか
7. 対人	団体での対人行動ができているか (友達と喧嘩をしていないか など)
8. その他	上記項目に当てはまらない項目
9. 観察コメント	保育士が観察した内容をコメント入力
10. 働きかけコメント	保育士がどう働きかけ、どう反応したのかをコメント入力



「良い・普通・悪い」の3段階で入力。気付いた項目のみ入力するため、普段は「普通」の入力は不要。対象となる子どもは、1日当たり3～5人程度。入力時間は5～10分程度。

効果と分析(1)

入力件数とスコア値でクロス集計し、園児を4つのグループに分けることができます。俯瞰的にみる施設別・クラス別の散布図と実際の現場感覚と突合することで、保育士の目が行き届いているのか、その対応は良かったのかについて検証し、保育士間のコミュニケーションを図ることができます。



効果と分析(2)

保育士別に入力割合や気づき項目別の内訳を比較することで、どのような視点で保育を行っているかが分析することができます。

保育士	+1			0			-1			1	挨拶	食事	排泄	活気	筋力	一人行動	対人	その他	介入洞察	観察洞察
	+	0	-	+	0	-	+	0	-											
保育士1	32.8%	19.0%	48.3%	1	1.7%	19.0%	15.5%	25.9%	3.4%	6.9%	17.2%	0.0%	10.3%	0.0%						
保育士2	20.6%	70.1%	9.3%	1	11.2%	10.3%	10.3%	15.0%	10.3%	9.3%	11.2%	0.0%	12.1%	10.3%						
保育士3	41.0%	22.9%	36.1%	1	8.8%	10.9%	7.4%	20.7%	13.3%	18.2%	13.1%	0.0%	5.6%	2.1%						
保育士4	76.9%	7.7%	15.4%	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
保育士5	20.9%	61.3%	17.8%	1	11.0%	14.1%	8.9%	12.6%	8.9%	13.1%	13.1%	0.0%	11.0%	7.3%						
保育士6	30.6%	2.8%	66.7%	1	5.6%	25.0%	2.8%	30.6%	0.0%	11.1%	13.9%	0.0%	8.3%	2.8%						
保育士7	55.4%	8.3%	36.3%	1	13.7%	17.3%	1.2%	23.8%	7.7%	7.7%	9.5%	0.6%	11.9%	6.5%						
保育士8	60.3%	9.9%	29.8%	1	10.6%	7.1%	1.4%	41.1%	12.1%	12.1%	7.1%	0.7%	3.5%	4.3%						
保育士9	50.4%	33.6%	16.0%	1	7.2%	12.8%	5.6%	16.8%	8.0%	10.4%	17.6%	0.0%	7.2%	14.4%						
保育士10	18.2%	18.2%	63.6%	1	0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%						
保育士11				0																
保育士12	16.8%	46.8%	36.4%	1	20.2%	20.2%	5.2%	31.2%	5.8%	2.9%	9.2%	4.0%	1.2%	0.0%						
保育士13																				
保育士14	37.8%	17.8%	44.4%	1	14.4%	13.3%	14.4%	14.4%	12.2%	15.6%	14.4%	0.0%	1.1%	0.0%						
保育士15				0																
保育士16	45.0%	21.4%	33.6%	1	16.8%	16.8%	2.5%	22.7%	10.9%	15.5%	5.9%	3.8%	2.9%	2.1%						
保育士17				0																
保育士18	20.9%	39.5%	39.5%	1	14.0%	19.4%	7.8%	13.2%	7.0%	9.3%	16.3%	3.9%	6.2%	3.1%						
保育士19	5.7%	60.8%	33.5%	1	10.2%	14.7%	10.6%	12.7%	9.8%	9.8%	12.7%	0.0%	9.8%	9.8%						
保育士20																				
保育士21	37.5%	25.4%	37.1%	1	9.1%	13.3%	3.4%	22.3%	8.3%	22.3%	14.8%	2.3%	2.3%	1.9%						
保育士22				0																
保育士23	9.1%	72.7%	18.2%	1	27.3%	0.0%	0.0%	45.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%						
保育士24	7.7%	80.8%	11.5%	1	7.7%	11.5%	15.4%	7.7%	7.7%	11.5%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%						
保育士25				0																
保育士26				0																
保育士27	34.3%	25.7%	40.0%	1	15.7%	12.9%	2.9%	28.6%	4.3%	22.9%	12.9%	0.0%	0.0%	0.0%						
保育士28	32.9%	2.1%	65.0%	1	7.4%	13.2%	2.1%	20.6%	2.9%	13.2%	21.2%	19.4%	0.0%	0.0%						
保育士29	36.0%	16.0%	48.0%	1	1.3%	14.7%	0.0%	33.3%	2.7%	26.7%	21.3%	0.0%	0.0%	0.0%						
保育士30	37.0%	3.4%	59.6%	1	1.4%	9.6%	2.7%	19.2%	4.8%	35.6%	22.6%	4.1%	0.0%	0.0%						

今後のデータ活用

データ分析・活用の観点

園児分析

- 施設別・クラス別に入力件数が特に少ない園児や、スコア値が特に引く園児に対し、適切な対応(保育)が実施できているかどうか振り返る(保育士の目が行き届いているのか、園児は不安を抱えていないか等)
- 気づきデータを基にした園児の状態変化の見える化(発達障害・児童虐待)
- 施設内・クラス内園児の状態の全体傾向の把握(俯瞰的)に基づく、保育士の指導に活用(フィードバック会議、保育士間コミュニケーション)
- 専門的な対応が必要な園児の早期発見に活用

データに基づく
ひとりひとりの園児の
特性に合わせた
保育の実現へ

保育士分析

- 保育士の気づきの傾向について振り返る(特性があるか? 経験則? 捉え方の癖? 等)
- 同一園児に対する複数保育士の気づきについて振り返る
- 保育士の経験年数や業務評価との比較(ベテラン保育士と若手保育士を比較)
- ベテラン・熟練と認知される保育士の「気づき」の傾向を見える化し、保育士全体のスキルアップに活用
- 気づきの特徴や弱みを補完する形で保育士の配置に活用

保育士の更なる
スキルアップや
最適配置の実現へ

クラス分析 保育園分析

- 各保育園・各クラスの特徴を把握するために活用
- 各保育園・各クラスの保育方針や内容がどの程度データに表れているか検証し、次の保育方針等の立案に活用

各保育園の
特徴の見える化

今後のMIMOTEの展開イメージ

